

夢に出た天文台

B₇ G A₇ D B₇ G A₇ D GE₇ D D₇ B₇
白くかすみかかる上り坂E₇ D D₇ B₇ E₇
見上げたヒンヨ 大きな丸い黒影G E₇
幼い頃見た天文台A₇ D
夢に出るたびにB₇ E₇ A₇ D
遠い故郷の山の中B₇ E₇ A₇ D D₇
なかなかに行けずには忘れてたG A₇ C G
見たのは確か 学校の遠足だったG A₇ C G
友達の間も 思い出せない頃G A₇ C G
それ子で一度も 見たことがなかったG A₇ C G
母が釘付けになる 衝撃の建物

夢の中 吸い込まれてゆく

その大きなドームに 大人になった今でも

わかってたその正体

故郷 帰ればいつでも見れる

思いながらも 行けなかった

夢見るたびに 行こうと思った

あゆから過ぎた 50年の月日

自分と同じだけ 生きてきただけに

いたしたドームも 輝きかなくなり

芝に衰えた力を感ずる

でもわかってる 長いその働きを 新しいドームに託すよに

主力を譲って 見守っているように

そんな優しさと 頼りがいを感じて

夢に出ている人を 飲み込むように

おそろい姿はもうなくなっていた